

## 目次

- 2 編集方針
- 3 報告書のプロフィール

## 4 サステナビリティの実現に向けて (For a Sustainable Future)

- 5 社長メッセージ
- 6 住友化学グループの企業理念
- 9 住友化学グループの目指す姿
- 10 最重要課題(マテリアリティ)と  
事業継続のための基盤
- 12 中期経営計画とサステナビリティ
- 13 サステナビリティ推進体制
- 14 推進活動・実績(非財務ハイライト)
- 23 イニシアティブへの参画
- 27 ステークホルダーとのコミュニケーション

## 29 ガバナンス

- 30 コーポレート・ガバナンス
- 40 内部統制
- 42 リスクマネジメント
- 45 コンプライアンス
- 48 内部通報制度(スピークアップ制度)
- 53 腐敗防止
- 56 レスポンシブル・ケア
- 64 情報セキュリティ
- 67 ガバナンス データ編
- 67 1 コーポレート・ガバナンス
- 68 2 コンプライアンス
- 68 3 税の透明性

## 69 環境

- 70 環境 目標実績一覧表
- 72 気候変動対応
- 81 環境保全
- 83 大気環境保全
- 84 水環境の保全
- 85 省資源・廃棄物削減
- 86 生物多様性
- 86 化学物質の適正管理
- 87 土壌環境保全
- 88 環境 データ編
- 88 1 気候変動対応
- 90 2 環境保全

## 109 社会

- 110 社会 目標実績一覧表
- 112 人権尊重
- 117 調達
- 121 人材マネジメント
- 123 人材育成
- 127 ダイバーシティ推進
- 132 従業員の健康
- 134 労働安全衛生・保安防災
- 141 プロダクト stewardship・  
製品安全・品質保証
- 147 顧客責任
- 148 医療へのアクセス
- 149 地域コミュニティ
- 156 社会 データ編
- 156 1 人材関連
- 160 2 労働安全衛生・保安防災
- 164 3 プロダクト stewardship・  
製品安全・品質保証
- 165 4 社会貢献関連
- 166 方針一覧
- 167 環境・社会データ算定基準
- 170 独立保証報告書
- 171 GRIガイドライン<スタンダード>対照表

## 編集方針

住友化学は、2017年度より従来の「アニュアルレポート」と「CSRレポート」の位置づけを整理し、これらを統合報告書「住友化学レポート」へと再編しています。

「サステナビリティ データブック」では、統合報告書「住友化学レポート」を補完する報告ツールとして、ステークホルダーの皆さまと当社グループ双方にとって重要と考えられる項目を整理し、主に環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の側面から当社のサステナビリティ情報を掲載しています。また、信頼性・透明性の担保として、定量的情報はKPMGあずさサステナビリティ株式会社による保証を受け、★マークを付しています(その他の開示情報については、データの回収方法、集計方法などP167~169「環境・社会データ算定基準」にて報告していますので、ご参照ください)。

当社レポートがステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションツールとして、当社および当社グループ会社のご理解の一助となれば幸いです。

### 住友化学の3つのレポート



#### 住友化学グループのサステナビリティに関する情報について

「サステナビリティ データブック」のほか、ウェブサイトでも当社グループのサステナビリティへの取り組みを紹介しています。

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/sustainability/>



## 報告書のプロフィール

### ● 報告対象組織

#### 住友化学株式会社およびその連結子会社

本文中の記述では、「住友化学」と「住友化学グループ」を以下の基準で書き分けています。

住友化学：住友化学株式会社

住友化学グループ：住友化学およびグループ会社

#### ▶ 環境データ(P70-108)

#### ▶ 社会データ(P110-111、P134-146、P160-164)

住友化学の生産工場および主要な連結子会社の生産工場(国内21社、海外20社)

「エネルギー消費量および温室効果ガス排出量」(P72-74)は、住友化学連結売上高99.8%以内の主要な連結グループ会社

#### 【住友化学】

住友化学(全工場)：住友化学株式会社の全生産拠点

住友化学(全事業所)：住友化学株式会社の全生産拠点および非生産拠点

#### 【国内グループ会社】

共有化目標設定会社15社生産工場(住化加工紙株式会社、住化カラー株式会社、住化プラスチック株式会社、日本エイアンドエル株式会社、日本メタアクリルモノマー有限公司、朝日化学工業株式会社、株式会社セラテック、住化アッセンブリーテクノ株式会社、サンテラ株式会社、住化アグロ製造株式会社、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、住化農業資材株式会社、住友化学園芸株式会社、日本メジフィジックス株式会社、住友共同電力株式会社)また、マテリアルフロー(P82)の集計対象会社は、上記15社に情報開示会社6社生産工場(広栄化学工業株式会社、田岡化学工業株式会社、株式会社田中化学研究所、株式会社サイオクス、大日本住友製薬株式会社、エスエヌ化成株式会社)を加えた21社

#### 【海外グループ会社】

海外グループ会社20社生産工場(Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd., The Polyolefin Company (Singapore) Pte. Ltd., Sumika Technology Co., Ltd., Sumika Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd., Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd, Sumika Huabei Electronic Materials (Beijing) Co., Ltd., Sumitomo Chemical India Private Limited, Zhuhai Sumika Polymer Compounds Co., Ltd., Sumika Polymer Compounds (Thailand) Co., Ltd., Sumitomo Chemical Advanced Technologies LLC, Dalian Sumika Jingang Chemicals Co., Ltd., Sumipex (Thailand) Co., Ltd., Bara Chemical Co., Ltd., SSLM Co., Ltd., Sumika Electronic Materials (Xi'an) Co., Ltd., Sumika Electronic Materials (Hefei) Co., Ltd., Sumipex Techsheet Co., Ltd., Dalian Sumika Chemphy Chemical Co., Ltd., Sumika Electronic Materials (Shanghai) Co., Ltd., Sumika Polymer Compounds Dalian Co., Ltd.)

(注) 詳細なデータ範囲は、各ページに掲載

新たに環境データの報告対象になった関係会社・工場については、住友化学グループとして調査を開始した年度の実績データから集計

● 報告対象期間：2018年4月1日～2019年3月31日(一部対象期間外の内容も含む)

● 発行時期：2019年8月(前回発行2018年8月、次回発行予定：2020年8月)

● 発行頻度：毎年

● 参考にしたガイドライン：● GRIスタンダード\*

- 環境省 環境報告ガイドライン(2012年)、環境会計ガイドライン(2005年)
- ISO26000

※ 本報告書は「GRIスタンダード」を参照している